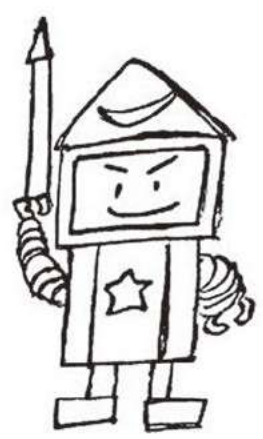


作新鳳 つくしんぼう

第18号
 令和6年3月
 <編集発行>
 新城市小中学校
 PTA連絡協議会
 (事務局)
 教育委員会生涯共有課
 0536-23-7639



共に過ごし
 共に学び
 共に育つ



令和5年度市P連事業タブレットアートコンテスト表彰式の様子

新城市小中学校PTA連絡協議会機関紙

CONTENTS

- P.02 会長あいさつ
 令和5年度の主な行事
- P.03～05 特集記事「研修・講演会参加報告」
- P.06・07 タブレットアートコンテスト
- P.08～11 地域・学校の特色のある活動
- P.12 令和5年度役員・理事紹介
 編集後記

変化を恐れず

新城市小中学校PTA連絡協議会
会長 齊藤 竜也



日頃は新城市のPTA活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。常識、社会、文化が変化する激動の時代を迎え、子どもたちの健やかな教育のためにPTAとしてどのような活動が望まれるのかを深く考える機会を与えていただき感謝いたします。

ICTという言葉すら古く感じるほどに時代の変化と子どもたちの適応のスピードが速く、大人たちのほうが戸惑ってしまうことも多々ありました。GIGAスクール構想を早々に取り入れた新城市では保護者、教職員の皆様は特にそのギャップをよく感じたことでしょうか。我々はこういった変化の時に、子どもたちのために何をしたらよいのかを慎重に考えつつも「変わることを恐れない姿勢」を見せることが重要であると思います。

「不易流行」という言葉があります。「変えてはいけない大事なもの」と「時代に合わせて変化させていくもの」の両者が共存し、バランスを取りながら今よりも良くしていくことを指しています。我々大人が変化を恐れず、文化を繋いでいくことこそ子どもたちに見せたい背中ではないでしょうか。自分と違う考えを受け入れ、多様性を認める社会を子どもたちに見せることができれば、あとは子どもたちが大人という不易の上に流行を積み上げ、繋いでくれると信じております。

本年度は新しい試みとして「タブレットアートコンテスト」を実施しました。多くの応募をいただき感謝いたします。こういった試みが来年度以降、新城市の子どもたちにどのような影響を与えていくかは分かりませんが、新たなチャレンジを生み出していくという文化創造の出発点となれば幸いです。

最後に、本年度もご多忙の中、多くのPTA事業にご協力いただいた保護者、教職員の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

令和5年度の主な行事

月 日	場 所	行 事 名
5月13日(土)	新城文化会館	新城市小中学校PTA連絡協議会総会
6月7日(水)	豊田市福祉センター	三河小中学校PTA連絡協議会定期総会
6月13日(火)	愛知芸術文化センター	愛知県小中学校PTA連絡協議会年次総会
7月18日(火)	愛知県教育会館	愛知県小中学校PTA連絡協議会家庭教育委員研修会
8月25日(金) 8月26日(土)	広島県	第71回日本PTA全国研究大会
9月2日(土)	新城文化会館	子どもの健やかな成長をねがう会
10月7日(土)	新城文化会館	新城設楽地区PTA情報交換会
10月21日(土)	福井県	第79回東海北陸ブロック研究大会
11月7日(火)	刈谷市総合文化センター	三河小中学校PTA連絡協議会情報交換会
2月3日(土)	刈谷市総合文化センター	三河小中学校PTA連絡協議会研究発表大会

《特集記事》 研修・講演会参加報告

令和5年度に市P連役員が参加した研修や講演会の一部を紹介します。

報告① 『子どもの健やかな成長をねがう会』(市P連副会長：原、市P連監事：原)

この会は、新城市教員組合との共催事業として毎年開催されています。本年度は、9月2日(土)に、新城文化会館会議室にて4年ぶりの対面で開かれ、テーマごとに、4つの分科会に分かれて、保護者の方々と教員とがさまざまに意見交換をしました。今回はその中から2つのテーマについてご紹介いたします。

テーマ① 子どもと「ICT」

タブレット端末を用いた教育やコミュニケーションツールは、現在の子どもたちにおいて欠かせません。そこで、メリット・デメリットや今後の課題について話し合いを行いました。

メリット

- ◇ タブレット端末での授業が、わかりやすいと感じている子が7割いる。
- ◇ 図や写真を活用しやすく、まとめる力がつき、モチベーションの向上に繋がる。
- ◇ 消極的な子も、意見を書き込みやすい。 など

デメリット

- ◆ 簡単に検索できてしまうため、想像力の低下が懸念される。
- ◆ 健康被害やモラルの問題が心配。
- ◆ ICTに苦手意識を持つ教員の方々へは逆に負担となってしまう。 など



ICT社会では、単なる情報技術（IT）の発展にとどまらず、情報を共有することが着目されています。いつの時代にも共通し大切な事は、コミュニケーション（C）であると改めて感じました。

テーマ② 子どもと「部活動」、子どもと「社会教育」

子どもと「部活動」、子どもと「社会教育」の分科会では、主に部活動の現状と今後について話し合いが行われました。

新城市において、各学校の部活動は選択できる種類が少なくなってきており、練習や大会なども減り、部活動をもっと頑張りたいと思っている生徒がいる一方、経験のない部活動の顧問となり、指導の仕方に悩んでいる先生方もある程度いらっしゃるのが現状です。

新城市では、来年度9月から「シスターズスクール制」が導入されます。他校と合同でチームを編成することで、生徒がより多くの選択肢のもと部活動に取り組むことができるようになります。また、次の段階として、新城市全体で一つのチームをつくる「新城クラブ」といった新しい活動も検討されています。そのためには指導者確保が課題であり、先生方の負担軽減や指導のできる地域の方々に参加しやすい環境づくりを、今後考えていかななくてはなりません。

保護者の方々からは「シスターズスクール制」についての質問も多く出て、先生方に説明をいただく場面もあり、部活動に対して活発な話し合いができました。

報告② 『教育講演会』(市P連書記：中島)

「父母と教師の教育を語る会」の教育講演会が9月20日(水)に名古屋で行われました。

講師に「元・プロ車いすテニスプレーヤー」の国枝慎吾氏にご登壇いただき、人生のターニングポイント、車いす生活から世界ランキング1位に上り詰めるまでのお話を聞くことができました。

国枝さんは9歳で車いす生活になり、11歳でテニスに出会いました。そして2006年にアジア人初の世界ランキング1位に上り詰めました。負けず嫌いとはポジティブな性格で車いす生活になっても「起きた事を受け入れ前へ進む」、そして常に「挑戦し続ける心」を持ち、1つのショットの練習に「最低30,000球打つ」という目標を掲げ練習していたそうです。

中でも、アン・クイーンさんとの出会いにより、プレーヤーとしてのメンタルコントロールができるようになり一気に強くなったというエピソードが印象的でした。

「～になりたい」ではなく、「～だ」と断言する精神が必要であるという指導のもと、「俺は最強だ」と毎朝鏡の前で唱え自分に言い聞かせ、初めは半信半疑で鏡の前に立っていたそうですが、いつの間にかそれが自分の心を落ちつかせる呪文のようになっていたそうです。大事なのは「疑ってもまずやってみる」ということでした。

今回の講演会を聞いて、何事も気持ちのコントロールで前に進むことができるという事を学びました。自分たちはプロプレーヤーのような強靱なメンタルは持ち合わせていないかもしれませんが、子どもたちへは自分で答えを導き出し、前を向いて進めるような指導をしていきたいと強く感じました。

父母と教師の教育を語る会
<教育講演会>

講師
国枝 慎吾氏

演題
**国枝慎吾
私の人生 9歳で訪れた
ターニングポイント**

日時 2023年9月20日(水) 14:30~16:30 (受付13:45~)

会場 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

開催にあたって **事前の申し込み**が必要となります。
※ 詳細は裏面をご覧ください。

主催 豊かな教育を創造する県民会議 後援 愛知県教育委員会

報告③ 『家庭教育委員会研修会』(市P連会長：齊藤)

7月18日(火)、家庭教育委員会研修会に参加し南修治氏を講師にお迎えした「だいじょうぶだからね」というテーマの講演を聞いてまいりました。

講師の南修治氏はシンガーソングライターということでお話だけでなく歌も交えた素敵な講演でした。「だいじょうぶだからね」というテーマに対して、様々な理由で学校にいけない子どもたちに対する接し方など、講師の方の体験談もふまえながら歌とお話でアドバイスいただきました。

デリケートで難しい課題ですが、歌で心に寄り添うことでこれまでなかなか声をあげられない方の心を開くことができるということとして、これで解決ということではなく、子どもの不登校に悩む保護者の心の「よりどころ」が必要であり、周りの環境から少しずつ変えていくことの重要性などを学びました。



報告④『新城設楽地区PTA情報交換会』

10月7日(土)、県P連情報交換事業として、令和5年度新城設楽地区PTA情報交換会が新城文化会館で開催されました。今回は企画運営を新城市P連が行い、新城設楽地区の各小中学校PTA役員の方々が参加しました。第1部は講演会、第2部はワークショップを行いました。

○ 講演会（市P連副会長：小林）

講演会は、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所リサーチャー 花田経子先生の講演会『GIGAネイティブ世代にリスクをどう教えればよいか』でした。

先生は、中学生のお子さんがいらっしゃるお母さんであり、愛知県警のサイバーポリスゲームの監修もやっておられます。

講演会は、同じ親目線でのお話や実体験のお話があり、クイズや質問コーナーもあって、分かりやすく為になる楽しい講演会でした。

今の時代は0歳からインターネットを利用して、子どもたちはリアルとサイバーの差が大人よりもなく、自分の手元にある情報が正しいかどうかを見極める力が少なくフェイクニュースに引っかかりやすいということや、成長して親の管理がゆるくなるタイミングで犯罪に巻き込まれやすくなることも教えていただきました。

お話の中で「予防することが被害を防止する近道」とおっしゃっていて、親として適切な対応をするために、子どもとコミュニケーションを深めること、親もインターネットについて理解することが大事と感じました。

この講演会で得た知識を色々なところでフィードバックしていきたいと思います。



○ ワークショップ（市P連監事：沖）

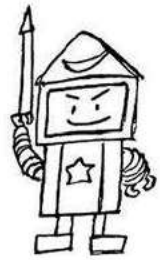
講演後に愛知県小中学校PTA連絡協議会の代表の方々、保護者の方とのワークショップを行いました。



途中、講演者の花田先生がワークショップを見学しアドバイスなど参加された方たちともお話しされグループ内でも色々な意見を出し合い、今までは気付いていなかった事や今後は気を付けるべき事などを学べた気がします。

これからは学校や地域の機関などいろいろな機関とも情報交換や手助けを受け、子どもたちを守れる社会造りができるよう願い、努力していきたいです。

タブレットアート コンテスト



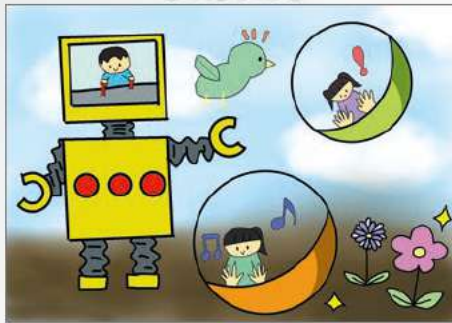
本年度は、市P連と市教育委員会の共催事業としてタブレットアートコンテストを開催しました。

「未来」をテーマに、市内の小中学生から作品を募集しました。多くの素晴らしい作品の応募があり、応募総数207作品の中から審査の結果、入賞4作品、入選12作品が決定しました。

入賞作品や入選作品は、市のホームページでもご覧いただけます。

入賞作品

教育長賞



「好きな乗り物でレッツゴー！」
左右田真奈さん (舟着小学校 5年生)

～教育長講評～

安全で優しい未来の乗りものが描かれています。

会長賞



「TOMODACHI」
鏡堂 心愛さん
(東郷中学校 3年生)

～会長講評～

限られた機能の中で細部にこだわった表現力をしっかり発揮できていてすばらしい！

つくしんぼう賞



「幻の天国」

眞木 希さん (作手小学校 3年生)

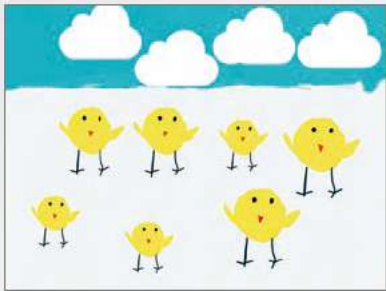
つくしんぼう賞



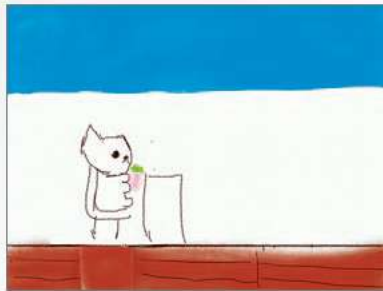
「人と宇宙人は友達だった？」

今泉 太杉さん (東郷西小学校 2年生)

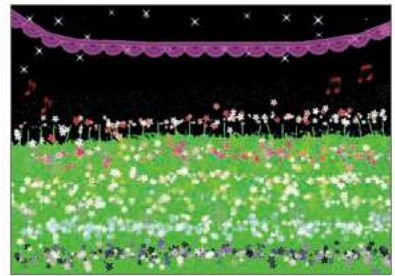
入選作品



「みんなであそんでいるみらい」
川合 孝太さん
(鳳来寺小学校2年生)



「ねことともだち」
川合陽茉莉さん
(鳳来寺小学校2年生)



「キレイな夜空キレイ花が
いっぱい咲いてる」
宮部 愛奈さん
(新城小学校4年生)



「ゴミのない海」
加藤 柊和さん
(作手小学校4年生)



「四季の朝昼夜」
夏目 紗彩さん
(作手小学校6年生)



「宇宙の友達」
森田 柚香さん
(作手中学校1年生)



「小麦粉いっぱいお料理ロボット」
吉田 晃士さん
(作手小学校2年生)



「有能A1」
渡辺 凜花さん
(作手中学校3年生)



「心で繋がっている」
鈴木沙弥香さん
(新城中学校1年生)



「海の生き物いっぱい」
松場ほのかさん
(新城小学校3年生)



「宇宙飛行士のサメ」
守屋 佑真さん
(作手小学校5年生)



「宇宙から発信」
佐宗 七海さん
(作手小学校6年生)

地域・学校の特色ある活動

市内を4つのエリアに分け、各エリアの地域や学校の様々な活動を紹介します。伝統行事や思い出に残る行事、各地域や各校の特色を活かした活動の中で、子どもたちや家族の皆さんが共に過ごし、共に学び、共に育つ「共育」を実践しています。

新城・東郷エリア 「歴史を掘り起こせ！鉄砲玉探し！」

今年は、NHK大河ドラマ「どうする家康」が放映された年。

家康ゆかりの地、新城で子どもと一緒に何か面白いことができないかと考え「火縄銃の鉄砲玉探し！」という事になりました。

地元ボランティアガイドさんにご協力いただき、10月29日(日)に設楽原歴史資料館で「火縄銃・鉄砲玉探し」イベントが行われました。

新城・東郷エリアの小中学生18名・大人15名の合計33名の参加者が集まり、2時間という短い時間の中で体を動かし楽しみながら、歴史を学びました。コメディアン「志村けん」さんが新城の歴史に関係しており、その昔、新城に来たことが有るとい話も有り驚きでした。

鉄砲玉探しにおいては、一発だけ、玉が発見されました！本物かそれともただの石ころか、ガイドさんに玉を託し日本銃砲史学会などの会員でもある小林芳春先生に鑑定していただきました。

結果は残念ながら本物の鉄砲玉ではありませんでした。ですが、鉄砲玉探しを通して設楽原の歴史を学び直し、新城の魅力を今一度、確認することができました。子どもとの時間も楽しく過ごす事ができ有意義なイベントになりました。



千郷・八名エリア 「地域と共に」

「米作り」 八名小学校



八名小学校では毎年5年生が地域の方の協力の下、米作りを体験しています。
 授業と地域の活動を結び付け、お米作りの大切さや大変さを児童が体験し食への理解を図る事を目的としています。
 現在では様々な工程を手作業で行うことも少なくなりましたが、地域の人に教えてもらいながら、子ども同士力をあわせて楽しそうに作業をしていました。
 収穫したお米は調理実習で食べたり、今回お世話になった方に配ったりしました。

「共育運動会」 庭野小学校



10月14日(土)4年ぶりの共育運動会が行われました。
 本年度庭野小学校は創立150周年を迎えました。
 150周年にちなんだ種目も催され、子どもたちと地域が一緒になり、昔ながらの運動会を堪能しました。地域と学校が楽しい時間を共有することができた貴重な時間となりました。

「SUNフラワー活動」 八名中学校



八名中学校では、地域の方々との交流を深めるとともに、生徒の自発性や慈しむ心などを育む教育の一貫として、SUNフラワー活動を行っています。
 自分たちで育てた花を地域の方々へ配る時、受け取った方の笑顔を見られるのは嬉しかったと思います。

鳳来エリア 「ふるさと教室&ふるさとウォーキング」

東陽小学校には秋に開催される「ふるさと教室」と「ふるさとウォーキング」という事業があります。どちらも児童と保護者が親子で一緒に取り組む事業で、恒例の学校行事です。

ふるさと教室は、「地域のさまざまな名人からその技を学ぶ」ことを目的に1990年に始まりました。現在は毎年秋の共育の日に実施されています。当初は教室に講師を招いていましたが、地域へ児童保護者が出向くようになり、より多くの地域の方々の参加が生まれるようになりました。

コロナ禍で3年間休止していましたが、「再開してほしい」という保護者や子どもたちの声で、今年は、規模を縮小し「親子で楽しむふるさと教室」として大野地域を歩く／キッズダンス／グラウンドゴルフ／木工教室／五平餅づくり体験／料理教室／切り絵教室／糸まんだらアートなどが開催されました。

普段は経験できないことが体験できるだけでなく、子どもたちのために時間を割いて準備をし、真剣に考えてくれる地域の方の姿を見ることで、自分も大きくなったら誰かのために役に立つ人間になりたいという子どもたちの気持ちも育んでいます。



もうひとつの「ふるさとウォーキング」は2000年に始まり、鳳来寺山石段、阿寺、長篠城周辺、望月街道の4つのコースを1年ごとに順番に歩き4年で全コースを回ります。

児童は学年が入り混じった縦割り班に分かれ、多くの保護者の方も参加し、秋の一日を子どもたちと共に歩きます。今年は、途中のチェックポイントでPTA委員がクイズやゲームを行い、長篠城周辺の歴史を学びながらコースを回りました。子どもたちの「たくさん歩いてつかれたけれど、最後までがんばって歩き切りました。資料館で歴史についても勉強でき、新しいことが知れて楽しかったです。」といった感想から、地域を歩くこの活動は、子どもたちの楽しみでもあり、また、自分たちが生活する地域の成り立ちを頭だけではなく体でも知る大変貴重な行事となっていると感じました。

どちらの活動も、地域の方と学び、触れ合いながら、ふるさと東陽を知ることで、ふるさとを大切にする子どもたちを育む伝統ある活動です。今後も末永く続けて行くことを地域の一員としても望んでいます。

作手エリア

「地域に根づいた活動を通して」

「つくで発見!つくで発信!」作手小学校

作手小学校は、地域に出かけ、地域の方から学び、地域について発信する活動を大切にして、生活科や総合的な学習に取り組んでいます。

低学年は、地域のヤギ牧場の方からお誘いいただき、実際に羊の毛刈りの様子を見学しました。ほとんどの子が羊の毛刈りを見るのが初めてで、「暴れない?」「痛くない?」と心配そうに見守っていました。さらに刈った毛を再利用し、図工で手のひらサイズの羊を作成しました。羊の毛刈りからたくさんのお話を学ぶことができました。



中学年は、作手にある長ノ山湿原にて「トンボの観察会」を行いました。講師の話に真剣にメモを取ったり、耳を傾けたりしていました。大きなトンボを見つけると、「あれは何トンボかな?」「あれを捕まえないね」とワクワクしていました。地域にある湿原の大切さやトンボの生態について学ぶことができました。

5年生は、作手の特産品を使ったメニュー「かく命おいなり」「ほうれん草クッキー」を開発し、地域にあるお店の協力を得て、道の駅「つくで手づくり村」で行われたイベント「ご縁日」で販売を行いました。あっという間に完売し、子どもたちは嬉しそうでした。

6年生は、地域の方を講師に招き、「亀山城」や「古宮城」など作手にあるお城を中心に歴史を学び、作手で開催された歴史ツアーでガイドのボランティアを行いました。作手が大好きな子どもたち、学びを通し、作手のよさを再発見し、発信することができました。



「地域とともに育つ」作手中学校

作手中学校では、地域を知る、地域の方たちとともに作る活動に取り組んでいます。

9月16日(土)、共育体育大会を開催しました。全校32名の学校ですが、生徒会から「地域の方たちとつくで音頭を踊ってみてはどうだろう」という提案があり、作手地区全域へ参加依頼をしました。当日は、生徒、保護者、教員、地域の方を合わせて150名を超える人が集まり、みんなで地域に根づく踊りを楽しみました。生徒会の「作手地区を盛り上げたい」という思いが地域、家庭、学校を一つにした機会となりました。



12月1日(金)、作中ウォークを実施しました。作中ウォークは中学校3年間をかけて菅守地区、協和地区、巴・開成地区の自然、史跡を巡り、地域の素晴らしさに触れることを目的としています。

獅子ヶ森を上り、山の裏側から旧開成小学校跡へ。その後、当時の学校道を通り国道へ。作手の地を1グループ5名程度の班で進み、普段話さない仲間との会話や紅葉を楽しみました。途中、生徒会からの企画やクイズなどもあり、より一層盛り上がりながら気持ちの良い時間を過ごしました。チェックポイントでは、PTAの方からのスタンプとエールに力をもらいながら、およそ21kmのコースを全員が歩き切りました。ゴールでは、温かい飲み物と完歩証をもらい、ホッとする生徒の表情がとても印象的でした。住んでいてもあまり知らない作手の美しさに触れる素晴らしい機会となりました。

令和5年度 役員・理事 紹介

= 役員 =

会長：齊藤 竜也（作手中）

副会長：原 留衣（新城小） 小林 明弘（千郷小） 山本 泰弘（舟着小）

書記：中嶋 充克（東郷中） 牧野 泉美（八名中）

会計：高尾 公彦（鳳来中） 夏目美菜子（東郷東小）

監事：原 佳嗣（舟着小） 沖 佳代（千郷中）

顧問：鈴木 康行



= 理事 =

☆新城中学校区☆ 鈴木 元紀（新城小） 新川 浩司（舟着小） 伊藤 彰良（新城小）

☆千郷中学校区☆ 白井 靖明（千郷小） 石河ゆかり（千郷中）

☆東郷中学校区☆ 松下智茂宏（東郷西小） 菅谷 祐子（東郷東小） 原田 明（東郷中）

☆八名中学校区☆ 牧野 哲（八名小） 安形 俊寿（庭野小） 岡田 宗雄（八名中）

☆鳳来中学校区☆ 伊藤 高毅（鳳来中部小） 今泉 隆之（鳳来寺小） 木村 大樹（黄柳川小）

加藤 直詳（東陽小） 原田 隼介（鳳来東小） 服部千帆美（鳳来中）

☆作手中学校区☆ 林 知宏（作手小） 齊藤 晃一（作手中）

編集後記：役員からひとこと

- ☆ 子どもたちの学校生活には先生はもちろん、他にも色々な方々が携わって一生懸命考えてくださっていると感じることができたのでやってよかったなと思いました。（副会長・小林）
- ☆ 役員をはじめ、多くの方々と携わらせて頂き、貴重な経験や共有した全ての時間を宝物のように感じています。（副会長・原）
- ☆ タブレットアートに多くの応募がありました。今後も楽しめる企画が増えていくことを願っています。（副会長・山本）
- ☆ PTAという仕事がどんなものか、市P連を通して勉強になりました。子どもたちの明るい未来のためにこれからもPTA事業において積極的に取り組んでいきたいと思えます。（書記・中嶋）
- ☆ 様々な学校の保護者の方と関わることができ、とても有意義な時間でした。多くの方が子どもたちをサポートしてくれていることを知ることができたと共に、少しでも役割を果たすことができ、嬉しく思います。（書記・牧野）
- ☆ 市P連に関して無知でしたが、活動する中で私自身、子どもとの関わり方などを考え直す良い場でした。（会計・夏目）
- ☆ 今後もPTA活動を通じて、子どもたちが元気に安心して学校生活を送れる様、願っております。（監事・原）
- ☆ 会長はじめ役員、理事の皆様のお力添えのおかげで、よい経験ができたことに感謝です。（会計・高尾）
- ☆ 市Pのメンバーにも恵まれ、とても良い経験になりました。（監事・沖）